

災救通信

平成27年
3月1日
第4号

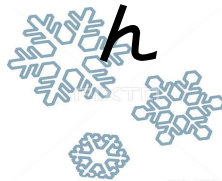
発行

天理教
災害救援
ひのきしん隊
北海道教区隊

逐次発行

冬季平時訓練

除雪ひのきしん 実施



災救通信（2月1日発行）号外で掲載したように南空知支部、空知支部では長年にわたるひのきしん活動を通して、地域市町村との関わりを深めている。災救隊本部でも日頃の地域ひのきしん活動を積極的に行って、関係自治体などに活動を認知してもらうことも、大きな務めであるとし、活動紹介パンフレット（1月支部例会配布済み）を作成し活用を促している。早速、このパンフレットを活用して自治体から好評いただいたという声を、岡田正弘富良野支部長からいただいた。『全教一斉ひのきしんデー』の交渉や打ち合わせの際にはぜひ、パンフレットをご活用いただきたい。

さて、今年は暖冬で一部地域を除く道内は降雪量が少ない地域が多かったが、雪で悩む

小樽・天龍・札幌北西など 支部内を除雪

お年寄りが多い。小樽支部隊（久米田忠彦隊長）でも2月19日 小樽市より依頼があった住宅3軒を支部隊員らと共に除雪を実施した。小樽支部では除雪ボランティアとして小樽市に登録をして数年来こうした活動を行っている。除雪後は、各所で喜びや感謝の声をいただき、そうした姿に接することで、参加した一同の充実感も一層



小樽支部の除雪のようす。息が切れます。

大きなものとなった。まさに「たすけあい」がもたらす陽気ぐらしの味わいである。今回の参加者は8名。地域ひのきしん活動の一環として、布教部が中心となり毎月布教活動を実施している「神名流し」へ災救隊としても参加と推進を目指している。

◆札幌北西支部では 支部内教会へ出動

札幌北西支部隊（濱本康博隊長）では2月3日 城琴分教会にて除雪ひのきしんを実施した。支部内より8名が参加し、支部例会にて教会より感謝の言葉をいただいた。また、支部では布教部が中心となり毎月布教活動を行っているが、災救隊も活動推進にあたっている。

天理教災害救援ひのきしん隊
70年以上の経歴を有する 全国規模の災害救援組織

活動紹介パンフレット

天龍支部でも

2月19日、20日、天龍支部災救援（田中直人隊長）では、冬季平時訓練を実施し、深川市社会福祉協議会を窓口で紹介された独居老人宅1件と、支部管内の信者宅5件の除雪ひのきしんを行った。今年は積雪量は少なめであり、晴天にも恵まれて隊員達は皆勇んでつとめさせていただいた。参加隊員数は15名、婦人会ひのきしん3名。

（支部副隊長 布野 真理）



建物の奥に大雪原が広がる。



天龍支部のみなさん。いい表情です。



北海道ブロック訓練
於：鹿追町

6月29日
30日
7月1日

北海道ブロック訓練に向け 支部巡回 (教区隊長報告)

6月29日30日 7月1日に十勝管内鹿追町で実施される災救隊『北海道ブロック訓練』に向け支部巡回を2月より6月にかけて実施。訓練の周知と各支部より5名以上の参加をお願いさせていただいている。また、災救隊の目指すべきところの「信仰信念の強化」「地域ひのきしん活動の率先推進」を具体的に進めるにあたり、除雪や清掃活動などのひのきしんは



十勝支部例会前には毎月、路傍講演を行っている。

もちろんのこと『ひとことはなしはひのきしん』とお教えいただくように日常の継続的な布教活動こそが、信仰信念強化につながると信じ、災救隊として布教部や青年会と連携して活動を活発に取り組みようをお願いをさせていただいている。今回の巡回に先駆けて訓練開催地である、**十勝支部**(会場河西分教会)に昨年12月4日支部例会にて諸事をお願いをさせていただいた。十勝支部では例会前に毎月路傍講演を帯広駅前に行っている。2月4日には**天龍支部**(会場雨龍大教会)へ巡回



天龍支部では除雪ひのきしんについて打ち合わせが行われた。

させていただいたが、天龍支部でも例会前に雨龍大教会周辺を神名流しを行っている。こちらの支部も毎月実施しているようだ。この日は深川市郊外でマイナス27℃を記録した。まさに凍てつく中、気合いを入れての活動である。また、翌日は**札幌北西支部例会**へ赴き巡回をさせていただいた。前頁の通り支部災救隊の活躍に教会より感謝の言葉があった。更に2月9日には**上川支部例会**(会場上旭川分教会) **旭川支部例会**(会場上川分教会)の2カ所を巡回させていただいた。



札幌北西支部例会のようす。2月会場は本樺分教会



旭川支部例会。上川分教会にて。



上川支部例会。朝は吹雪模様、上旭川分教会で。



① 自動ラップ機構で衛生的に処理

日本セイフティーが開発した自動ラップ機構は水を使わず、熱圧着によって排泄物を1回毎にラップします。^{#1}
 毎回、個包装にして切り離すので、清潔でお手入れも簡単です。
 コストは1回あたり約114円です。



② 臭いや菌を漏らさない防臭フィルム

5層構造の特殊な防臭フィルムは臭いや菌を外に漏らしません。また、ラップする事で汚物や吐しゃ物による二次感染を予防します。防臭フィルムはポリエチレン素材のため焼却しても有害なガスは発生しません。ラップされた袋は紙オムツと同様の処理が可能です。^{#2}



③ 軽量コンパクトで持運び簡単

本体は傷が付いてもサビにくくお手入れしやすいアルミニウム合金製。軽量なので持ち運びも可能です。使わないときはコンパクトに収納することが出来ます。

災害用ポータブルトイレについて
 災救隊本部より紹介のありました製品について簡単に説明いたします。非常時には特に役立つすぐれ物のトイレ。汚物は水を一切使わず凝固剤を入れて熱処理で約1分でラッピング。電気の無いところでも充電式のバッテリーで使用できます。東日本大震災発生後、50カ所で支援活動を展開したそうです。支店や教会での防災機材としての装備いかがでしょうか。

製品名は『ラッポン・トレッカー2』販売店は株式会社 白興商会
 茨城県守谷市本町3313 電話0297-45-4304

質量：約12kg 収納時寸法：幅440^{mm} × 奥行き460^{mm} × 高さ400^{mm} 電源 (AC100V)
 本体価格160,000円 (購入数により値引きあり 136,000円~144,000円)
 関係備品専用バッテリー：26,000円 専用フィルムロール：約50回分：4,000円
 専用凝固剤：50袋入り1,143円 トイレ使用実費1回につき約100円

★特別特典

ダイードリンコ株式会社の自動販売機を設置契約すると本製品を無料で入手することが可能。
 詳細は上記会社へお問い合わせください。

災救隊活動報告はこちらへ sai9.hokkaido@gmail.com